

作業補足シート

2 : 5 6

分野	測定・評価	作業名	チャンネルの測定
目的	敷設した配線のチャンネルの測定（Cat 6 U/UTP）を行う。 配線は、OAフロアに設置されたラック内の機器コード（ラック内：インターコネクト配線）から通信アウトレットに接続されたワークエリアコード間となる。		
工程	ポイント		時間 (再生位置)
1. ケーブルを測定機に接続	・ パッチパネルに接続されている機器コードと測定器の片側（メイン）及び、情報コンセントと測定器のもう一方（リモート）を接続する。		0 : 3 1
2. 測定器(規格等)の設定	① 新規にテスト規格等を設定するため、【プロジェクト】を選択する。		0 : 5 2
	② プロジェクトの画面から【新規テスト】を選択する。		1 : 0 2
	③ 被測定対象のケーブルに合わせてケーブルの種類を選択する。 テストのセットアップの画面から、現在選択されているケーブルの種類【ケーブルタイプ：Cat 6A U/UTP】を選択する。		1 : 0 6
	④ 最近の選択と様々なケーブルタイプが表示されるので、その中に無い場合は、【その他】を選択する。		1 : 1 0
	⑤ 【汎用】を選択する。		1 : 1 6
	⑥ 被測定対象となるケーブルの種類に変更する。 ケーブルの種類【Cat 6 U/UTP】を選択する。		1 : 2 0
	⑦ 測定したい規格に変更するため【テスト規格】を選択する。		1 : 2 5
	⑧ 最近の選択と様々なテスト規格が表示されるので、その中にない場合は、【その他】を選択する。		1 : 3 0
	⑨ テスト規格の項目から、【TIA】を選択する。		1 : 3 5
	⑩ TIA の項目から、【Cat6】を選択する。		1 : 4 0
	⑪ 【TIA Cat6 Channel(+PoE)】を選択する。		1 : 4 4
	⑫ テストのセットアップの画面に戻り、【アウトレットの構成】を設定する。		1 : 5 0
	⑬ 配線に合わせて“A”または”B”の規格を選択する。ここでは、【T568B】を選択する。		
	⑭ T568B（使用する構成）を選択後、画面下部の【選択した		1 : 5 8

	項目を使用】を選択する。	
	⑮ ケーブルタイプ、テスト規格、アウトレットの構成に間違いがないか確認したら【保存】を選択する。 ※NVP はケーブルの長さに影響するため、必要に応じて設定する。	2 : 1 0
	⑯ ホーム画面に戻り、作成した規格が表示されていることを確認する。 表示されていない場合は、現在設定されている規格名を選択し、作成した規格【TIA Cat6 Channel(+PoE)】に変更する。	2 : 2 0
	⑰ テストの変更から、作成した規格に変更し、【選択した項目を使用】を選択する。	2 : 2 9
3. テスト	・ ホーム画面の【テスト】または測定器の【TEST】ボタンを押し、測定を開始する。	2 : 3 3
4. 測定結果の確認	・ 測定結果が表示される。測定項目の詳細を確認する場合は【パフォーマンス】を選択する。	2 : 4 8 2
使用器具	チャンネル試験器 (FLUKEnetworks DSX-8000、DSX-CHA804×2)、パッチパネル×1	
使用材料	Cat.6 UTP ケーブル (両端プラグ付き Cat.6) ×2、Cat.6 UTP ケーブル (両端ジャック付 Cat.6 : パーマネント・リンク) ×1	
最終更新日	2022/03/07	